

基本情報



【年 齢】
35歳
【出身地】
神奈川県平塚市
【転出元】
神奈川県藤沢市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R4.4～（現役）

協力隊に応募したきっかけ

両親が秋田県出身、かつ母親が小坂町出身のため、幼少時代は夏休みによく遊びに来ていました。
令和3年10月、初めて妻と子供を連れて小坂町を旅行で訪れた際に宿泊したホテルで「小坂七滝ワイン」に出会ったことから興味を持ち、ワイン用のブドウ栽培やワイナリーでの業務を地域おこし協力隊として募集していることを知りました。
妻から快く背中を押してもらい、自然豊かな小坂町で子育てをしていきたいという想いから応募をしました。

今後の抱負・任期後の目標

ワインコンクールの開催をきっかけに、BBQ検定を受けてワインとのマリアージュを考えたり、美味しい楽しいイベント企画をたくさん生み出していきたいです。
小坂町でのヤマブドウ系のワインの明るい未来のために、私も一粒の実になってワイン事業の発展に関わっていききたいです。
また、協力隊の退任後はブドウ栽培についてさらに学びを深め、自分の土地でブドウを栽培して、そのブドウでワインを醸造したいと思っています。

活動内容

●ブドウ栽培

春先に余分な芽を取り除く「芽かき」、その後新梢を棚に固定し、日当たりにムラが出ないように、病気にならないよう誘引作業をしています。
品種にもよりますが、8月下旬からは収穫がはじまります。ひとつひとつ手作業で選別をしながら丁寧に収穫を行います。



●山ぶどう系品種のワイン醸造

日本の滝百選「七滝」のそばにある「小坂七滝ワイナリー」でワイン醸造に携わっています。
8月下旬からはブドウの収穫と並行して醸造作業が始まります。ブドウの房から梗を取り除き、果皮を破って果汁を出す除梗破碎作業から瓶詰、すべて手作業のラベル貼りまで繊細な作業が続きます。



●PRイベント等への運営協力

今年小坂町を会場に「第1回日本山ぶどうワインコンクール」が開催され、集計係として運営に関わり、会場の緊張感を肌で感じました。
また「小坂七滝ワイナリー」のワインが金賞に値する茜賞を受賞したことで多くの反響があり、より多くの方々に小坂のワインをPRしていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】小坂町総務課企画財政班 担当：木村
（メールアドレス（個人or職場））kikaku@town.kosaka.akita.jp
（電話番号（個人or職場））0186-29-3907

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
特になし⇒今後、広報での連載、SNS等での発信を検討中